

灯油の盗難にご注意ください

この時期は、住宅や事務所の屋外に設置されたホームタンクから灯油が盗まれる被害が毎年多く発生しています。近年は安全面や景観面への配慮から、ホームタンクを家の裏手など人目につきにくい場所に設置することが多いため、注意が必要です。

しっかりと対策し、被害に遭わないようにしましょう。



灯油の盗難被害！よくある手口とその対策

▶給油口を開けて灯油を抜き取る手口

最も多い手口は、給油口を開け、ポンプで灯油を抜き取るものです。給油口を施錠せず開けたままにしておくのは大変危険ですので、南京錠を掛ける、ホームセンターなどで販売されているタンク内へのホース侵入防止器具を取り付けるなど、しっかりと対策し、被害を防ぎましょう。

▶給油管を切断して灯油を抜き取る手口

タンク下部のパイプを切断し、そこから灯油を抜き取るケースもあります。給油口の場合と同様に、ホームセンターなどで販売されている配管カバーやバルブカバーを設置するなどの対策をしましょう。

▶タンクごと持ち去る手口

小さな屋外型タンクの場合、トラックを横付けしてそのまま持ち去られるケースもあります。ホームタンクの周囲には、センサーライトや警報機、防犯カメラなどの防犯機器を設置することをおすすめします。

盗難被害に 遭ったときは

すぐに警察署または最寄りの駐在所へ通報しましょう。

また、配達業者によっては盗難補償がある場合もあるので、確認しましょう。

特殊詐欺に引き続き注意してください！

道内における特殊詐欺の被害は、9月末時点で去年の件数の約2.5倍、被害額は13億円以上増えています。特に苫小牧警察署管内では「親族からのお金の無心」や「警察、金融機関から通帳が悪用されている」という情報など、特殊詐欺の予兆のような電話が増えています。実際に被害に遭われた方や受け子の逮捕案件も出ていますので「知らない番号の電話には出ない」「親族や公的機関の電話でも、お金の話は一度電話を切り、自分で調べた番号へ折り返す」などの対策を徹底しましょう。



不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 ㊟ 0110

追分駐在所 ☎ ㊟ 2003

安平駐在所 ☎ ㊟ 2339

早来駐在所 ☎ ㊟ 2030

遠浅駐在所 ☎ ㊟ 2211

役場総務課 ☎ ㊟ 2511